

3 令和2年度 学校目標

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
1 教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲を高め、個に応じた進路実現を図るため、組織的な授業改善や「課題研究」等の充実に取り組む。 ②Ⅱ期「プログラミング教育」の研究推進校として、研究と実践を深める。	①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業改善と探究的学習等の活動を推進する。 ②「プログラミング教育」の研究や実践を授業改善に活用し、「総合的な探究の時間」等を含む全教科への取り組みとして推進する。	①100分授業を充実させるため、生徒が能動的に参加できる授業手法を研究し、授業改善に努める。ICTの効果的な活用を、全ての教科で研究し、情報共有を行う。 ②プログラミング教育の2つの視点「物事を分解して理解する」「やるべきことを順序立てて考える」を、全ての科目の授業改善に活用する。また、探究的活動や教科横断的な活動にも、その視点を広げる。	①生徒が主体的に授業に取り組むことができたか。「生徒による授業評価：項目4」の数値により測る。ICTの効果的な活用により、生徒の理解が深まったか。全教科で情報共有できたか。 ②生徒が教科指導を通して、プログラミング教育の2つの視点を理解し、活用することができたか。探究的活動等に、その視点を広げることができたか
			①部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。 ②生徒一人ひとりに対するきめ細やかな支援と規律正しい学校生活への指導の充実を図る。	①部活動への積極的な取り組みを、より一層充実させる。 ②生徒情報を共有し、生徒理解を深めることで、個に応じた適切な支援を行う。また、規範意識の向上に努める。

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
			具体的な方策	評価の観点
3 進路指導・支援	①進路希望の実現に向けて、生徒が主体的に目標を設定し、計画的に実行できる指導・支援体制の確立を図る。	①生徒が主体的に進路選択できるように、校外での体験、外部テストの活用や三者面談の充実を図る。また、生徒の進路選択に有益な、正確で丁寧な情報提供を行う。	①3年間を見通した、計画的で効果的なガイダンスを実施する。個々の進路に応じた、きめ細かい進路指導を行う。進路室の充実を図る。	①多くの生徒が、希望の進路を実現できたか。卒業時に、進路未定の生徒が減少したか。
4 地域等との協働	①地域との交流や協働を深め、地域に信頼され開かれた学校づくりを推進する。	①外部(近隣小中学校・企業・大学・専門学校等)との連携や協働を強化し、地域の教育力を積極的に取り入れる。	①継続して行われている様々な外部連携や協働に、生徒がより積極的に参加できるよう工夫し、新たな取り組みについても検討する。	①地域の教育力を活用することで、生徒の自己肯定感を育むことができたか。地域に貢献することで、本校の教育活動が理解され、信頼感が高まったか。
5 学校管理 学校運営	①生徒の安全・安心な学校生活を維持するため、すべての職員が変化に迅速に対応し、積極的に課題に取り組む学校組織を構築する。 ②再編・統合を計画的に推進する。	①風通しの良い職場環境を心掛け、事故・不祥事防止に努める。また、学校運営協議会を活用することで、組織的課題解決力の向上を図る。 ②3年後の再編・統合に向けた業務を計画的に遂行する。	①情報交換を密にする。研修会を効果的に活用しながら、教職員一人ひとりが、自身の問題として考えられるよう工夫し、事故防止に努める。学校運営協議会を活性化する。 ②再編・統合に向けた課題を整理し、積極的な提案を行う。	①すべての職員が、効率よく業務を推進できる職場環境であったか。不祥事故防止が徹底できたか。学校運営協議会を活用できたか。 ②再編・統合に向けた目途や調整が進んだか。